

2024.4						
No.	地区	項目	意見要約	市長回答	所管課	所管課補足
1	金久地区	駐車場の陥没及び防火槽上の土地利用について	柳町中央自治会が管理している集会場と附随する駐車場のうち、駐車場部分において陥没があり、現在使用を中止している。早目の復旧をお願いしたいのと併せて、隣接する防火槽が埋めてある上の土地について、子ども達がラジオ体操などで使えるよう整備してもらえないか。	まずは現場を確認させていただいて、必要な対策を担当課と検討したいと思っています。また、すぐに対応できないものについては、段階的な利用ができないか、担当課と一緒に考えていきたいと思っています。	企画調整課 土木課	土木課と企画調整課で現地の確認を行い、陥没について復旧を行い、駐車場として利用が再開できるよう対応しました。隣接する土地についてもラジオ体操などで活用できるよう整備しました。
2	金久地区	空き家について	自治会内に9軒空き家があり、そのうち1軒が少しずつ隣家に傾いてきている。個人の財産であることは理解しているが、10年近く改善がみられないもので、台風で崩れないかと不安な状況。何とか改善に向けて動いていただけないか。	空き家の対策については、国の法律も改正され、いろいろと対策できるメニューが増え、対応できる手段も増えております。相続の問題や登記の問題など大きな法律の壁もございますので、なかなか前に進まない難しい事例があることも確かではありますが、今ある制度を活用して何か対策ができないか、最適なあり方を担当課と考えていきたいと思っています。	プロジェクト推進課	当該空き家については、数年来より状況の把握および所有者調査を実施しております。改善に向けた動きとしましては、新たな制度の設立や改正を行っているところです。今後とも改善に向けて取り組んでまいります。
3	金久地区	アカギについて	隣接する山からアカギが民家に迫ってきており、とても大きな木であることや、急勾配に生えていることもあり、人力で住民が撤去することが難しい。市として改善してもらえないか。昨年、土木課や農林課、森林組合の方にも現地を見てもらっているが、何とかお願いできればと思います。	基本的には土地の地主が対応していただくことが原則なのですが、松枯れの松を伐採したときには、いろいろな条件をつけて市が実施したこともありますので、状況を調べさせていただいて、地主の方をお願いするのか、また、別の方法を考えるのか、検討したいと思っています。昨年度、担当課がどのように判断したのかを把握させていただきたいと思っています。	農林水産課	市長回答のとおり、原則、土地所有者（又は相続人）に対応していただくようお願いしており、現状の制度（危険木伐採事業）においては「奄美市が所有する山林」にある危険木の伐採を実施しております。ただし、毎年同様の相談が多いことから、次年度以降「個人有地」にある危険木伐採に対して一部助成ができないか検討してまいります。
4	金久地区	緊急時の民生委員としての対応について	高齢者の方が虐待を受けていると夜遅く家に来られたことがあった。110番しても警察も長く時間がかかることがあるため、行政に繋げたいのだが、どうしたら良いか。	（市長）市役所の中にはつながる相談室がございますので、何かお困りごとがあれば、そちらにも繋げていただければと思います。緊急時は警察など24時間体制で対応できる組織にご協力いただくことが必要と思いますが、少しでも民生委員の皆さんの業務が円滑になるように市としてもしっかりとお支えしていきたいと思っています。 （副市長）緊急的な場合は、まずは警察に助けを求めることが良いと思います。それ以外のケースについて、想定が難しいところではありますが、保健所の職員が警察と同行して訪問するケースなどもございます。まずは、警察の方にご連絡いただくことがよろしいかと思います。	福祉政策課 高齢者福祉課	【福祉政策課】 市役所の営業時間外に緊急的な内容の電話を受けた場合、宿直から担当課の職員に連絡がいくような体制をとっています。 しかし、今回のような場合には、警察の方にご連絡いただくことがよろしいかと思います。 【高齢者福祉課】 緊急的なケースにつきましては、警察に通報をお願いします。通報内容から高齢者虐待（疑い含む）と判断された事案につきましては、すべて警察から行政へ報告・連絡があります。関係機関と連携をとりながら、対応させていただきます。
5	金久地区	民生委員について	柳町においては1名欠員があり、近隣の町でも井根町2名、末広町1名、金久町1名、長浜町2名民生委員が不在となっています。ぜひ、不在地区を解消していただきたいと思いますので、政策として取組みをお願いしたい。	昨年度、小浜町に通勤をされている方を紹介して、小浜地区の民生委員になってもらったことがあります。また、市職員のOBが民生委員になったということも聞いておりますので、しっかりとアンテナを張って取組みをしていければと思います。	福祉政策課	奄美市だよりや市のホームページにて民生委員の募集を行ったり、市役所2階のデジタルサイネージを活用して民生委員活動の周知を行っています。 また、民生委員児童委員協議会連合会事務局との意見交換会を行い、現民生委員の方から情報収集を行っています。そこで得た情報をもとに候補者のご自宅へ訪問し、リーフレットや担当地区の地図を用いて民生委員の活動について説明を行っています。 不在地区の解消に向けて、引き続き取り組んでいきたいと思っています。

No.	地区	項目	意見要約	市長回答	所管課	所管課補足
6	金久地区	シェアハウスでの取り組みについて	柳町でシェアハウスを建築中。未来の奄美市づくり計画の中でも、移住者にも優しいまちづくりを位置づけられていると思いますので、インターナショナル、単身者など、様々な方々に対応する自分たちの取組みを認知していただき、今後とも奄美市と一緒に頑張っていきたい。	まだまだインバウンドの受け入れは弱いと感じていますが、今後外国人の受け入れなどに関して、国際化など対応の強化を支援して参ります。奄美観光の魅力は住民との交流だと思いますので、シェアハウスについてはとても貴重な役割だと考えます。今後ともよろしくお願いします。	商工政策課 紬観光課	【商工政策課】 【紬観光課】 補足なし。
7	金久地区	津波の住民避難について	津波の際に近くの高台に避難しようと考えても道がなかったり、階段が急で高齢者が登れない。高台に避難する避難経路を各地区ごとに考えて指示していただけないか。	全国的に大きな地震が頻発しているので、地震や津波への備えについて、かねてより市民の皆さまには強く意識していただいていることだと思います。 本市でも毎年、避難訓練を行っておりますが、鹿児島大学から防災のアドバイザーをお迎えして、行政のすべきこと、できることなどを一緒に考えてもらっております。どのくらいの津波に備えるのがよいのかを考える中で、過去の歴史にもとづいて、避難を考えることが大切なため、明治44年の喜界島沖地震を参考にして、8mの津波を想定しているところです。このため10m以上、3階以上の建物に避難することがまずは適切であろうと考えております。津波が起こった際には皆さん自身がどこに居るかは分かりませんので、まずは10m以上の建物、市役所なども活用いただき、ご家族、地域の方と備えていただければと思います。今後、防災アドバイザーも含め、市民の皆さんへの説明会や研修会を開催したいと思います。	総務課	避難行動要支援者向けの避難については、自助、共助の観点から、自主防災組織にて地区毎の防災計画及び個別避難計画を作成して頂いているところです。 自治会ごとに、津波の規模によってどのような行動をとればよいのか、また、各世帯ごとにどこに避難することが好ましいのかを、防災アドバイザーによる講話のほかに、ハザードマップや出前講座等を活用してご確認頂けたらと思います。
8	金久地区	津波の住民避難について	避難所用にパーテーションや簡易トイレなどをいただいたが、もう少し数を配置していただきたい。	避難所における資器材については、集会場などの規模に応じて柔軟に対応したいと思います。	総務課	避難所の資材については、ニーズや保管スペースなどを確認しながら、配置の検討を進めてまいります。
9	金久地区	ゴミ集積場のカラスの被害について	柳町の山がカラスの寝床になっていて、引越したいぐらい。 特にカラスがゴミを荒らさないように、ゴミを出す時間をもっと細かく設定できないか。	ゴミの収集業者は何年かに一度変更になり、収集業者のスケジュールで動いているものであり、地区によって、収集時刻が違ってきているものです。ある程度は収集業者の裁量に任せておりますが、柳町の実情（カラスの寝床が近い）こともお伝えさせていただき、少しでも改善が図られるよう取り組んで参ります。また、カラスの駆除対策も行っていますが、まだ不十分な点がありますので、全国的な事例も参考に引き続き取り組んで参ります。	環境対策課 農林水産課	【環境対策課】 回収ルートの設定については、ごみ収集業者により効率的にゴミが収集できるよう行っています。「ゴミを出す時間をもっと細かく設定できないか」とのことですが、その日のごみの量で収集時間が前後するため、収集時間を細かく設定することは難しいと考えます。 カラスの対策としては、カラス避けネットの導入や、ゴミ箱の設置などを行うことで改善されるのではないかと思いますので、是非導入をご検討ください。 【農林水産課】 カラス対策につきましては、農作物等に被害がある場合は鉄砲等による駆除を行っているところです。また各地区にカラス捕獲小屋を設置し、捕獲事業も行っております。 しかしながら、人家に近い位置での、カラスによる各種被害にあたりましては、市街地で鉄砲を使うわけにはいかない等のことにより、有効な駆除対策は打ち出せない現状であることをご理解お願い申し上げます。